

親睦と融和を

市民相互の親睦と融和を図り、市の活力を高めようと第4回元氣かんざき市民交流祭が、11月13日、JR神埼駅周辺などで開かれました。

今年「歌って・聴いて・踊って、食べて、見て」をテーマに、多彩なステージイベントとともに、特産品を食材に使った出店も並び、訪れた人を楽しませました。



かんざき市民交流祭



ステージでは、アンパンマンショーや11月3日の予選会を経て行われたカラオケチャンピオン決定戦に続き、市の音頭「よかね神埼」を歌っている力武杏奈さんや市の歌「MY DEAR 神埼」を歌っているダ・カーポのコンサートが行われました。

力武さんの「よかね神埼」に合わせ、文化連盟、婦人会のメンバーの先導で、訪れた人も一緒に市民総踊りで祭りを盛り上げました。

一方、会場に並んだ出店では、この日のためにと市長自ら千代田町の堀レンコンを収穫するなど秋の神埼の食材を使ったメニューが用意され、訪れた人が舌鼓を打っていました。

また、サテライト会場の吉野ヶ里歴史公園では、スケッチ大会と餅つき体験があり、今回初の試みとして、骨董市がJR神埼駅南側の駅通りで開かれ、多くの愛好家が訪れました。祭りの最後は、花火で締めくくり、秋の夜空に練り広げられた光の競演を堪能しました。



神埼ブランドひし焼酎

地元産の菱を原料にした菱焼酎の完成発表会では、試飲も行われ好評でした。

神埼ブランド創造「ひし焼酎」の取り組みは、神崎市総合計画の一つである「力強く活気あるまちづくり」の実現の一環で、神埼産和菱をいかしたオリジナル商品で町

おこしができなにかと昨年8月に田中酒造と共同で菱焼酎造りを開始しました。



「とにかくやってみよう」という思いから田中酒造も初めての和菱による作業は試行錯誤の繰り返しでしたが、今回焼酎の原酒20ℓが完成し、出来上がった焼酎は、アルコール度数41度。鍋島藩の御用窯であった大川内山の瀬兵衛に依頼して作成した色鍋島の容器(500ml)で、40本となりました。

市民交流祭では、当日抽選で選ばれた人による試飲が行われ、「和製ブランデーのようだ」「菱の香りが良い」など評判は上々でした。

市では、今年度は量が少ないため一般販売はせず、PR用に使用し、来年度原酒100ℓの目標を掲げ増産する予定です。

神埼を可愛さでアピール

市民交流祭では、神埼市の情報を県内外へ幅広くPRするため作成された神埼市のマスコットキャラクター（ゆるキャラ）くねんワン（犬、写真右）くねんニャン（猫、写真左）の披露も行われ、早速、表彰式のお手伝いとして活躍しました。

キャラクターは、県内の自治体などで実績のある4社に依頼し、出来上がった10点のデザインから、観光協会や商工会などから組織された16人の選定委員が協議を重ね、やわらかい丸みのある神埼らしさを表現したデザインが選定されました。

今後は、市内各種イベントや県内外の商工推進事業に参加します。末永く、可愛がってください。



神埼を満喫～元気



第4回元気かんざき市民交流祭で行われたカラオケチャンピオン決定戦とスケッチ大会の結果は、次のとおりです。（敬称略）

【カラオケチャンピオン決定戦】

- ・チャンピオン 八谷竹浩（神埼町）
（小金沢昇二「ありがとう感謝」）
- ・2位 太田万里子（神埼町）
（ハン・ジナ「もいちと薔薇を」）
- ・3位 成田道信（神埼町）
（鳥羽一郎「志摩半島」）

【吉野ケ里スケッチ大会】

○幼児の部

- 最優秀賞 森永愛理（神埼町）
- 優秀賞 吉田朝香（佐賀市）
- 芹川瑠風（大村市）

○低学年の部

- 最優秀賞 吉田琴音（佐賀市）
- 優秀賞 香月琴菜（上峰小）
- 久富千穂（東部小）

○高学年の部

- 最優秀賞 香月鈴菜（上峰小）
- 優秀賞 久富友季（東部小）
- 森 瑞季（神埼小）

○中学生の部

- 最優秀賞 坂井 遥（千代田中）
- 優秀賞 北村菜々子（神埼中）
- 遠嶋玲那（千代田中）

文化の秋多彩に

【脊振町文化祭】

神崎市文化連盟脊振支部主催の第25回脊振森林の里文化フェスティバルが、11月5日から11月7日までの3日間、脊振勤労者体育館をメイン会場に開催されました。



子どもからお年寄りまで幅広い年齢層のステージでの活動発表や作品展示、また、航空自衛隊背振分屯基地の協力によるカレーの野外炊飯実演・試食や脊振産もち米を使ったもちつき及び試食、地元農産物の販売など、脊振町の一大イベントとして大変にぎわいました。

【神埼町文化祭】

11月3日から7日までの5日間、神崎市文化連盟神埼支部主催の第25回神埼町文化祭が、神埼市中央公民館で行われました。初日は、恒例のパザールと神崎市文化連盟主催の「第8回美しい日本語暗唱・朗読大会」が開催されました。また、展示部門では、会議室、ロビーを会場として絵画、書、陶芸、パッチワーク、絵手紙など市民の力作が5日間にわたって展示されました。



最終日には、記念式典とステージイベントが行われ、57の団体・個人が出演し、その完成度に観客からは、惜しめない拍手が送られていました。最後には、「MY DEAR 神埼」よかね神埼」も披露され、幕を閉じました。

【千代田町文化祭】

10月31日から11月3日までの4日間、神崎市文化連盟千代田支部主催の第31回千代田町文化祭が、千代田文化会館と千代田町保健センターで行われました。

作品展示が行われた保健センターでは、多数の力作が並び、写真や習字、絵画など、プロ顔負けの作品に、多くの観客が見入っていました。

園児の元気な歌声に始まったステージ部門では、日本舞踊や高志狂言といった伝統芸能も披露され、訪れた観客を魅了しました。最後は、「よかね神埼」と「千代田町音頭」が、踊りの会と婦人会によって披露され、観客の手拍子を誘っていました。



文化祭で神埼市の音頭「よかね神埼」を披露



神埼市の音頭「よかね神埼」の振り付けを作成した神崎市文化連盟会員は、各種イベント及び行事などで音頭の普及、宣伝に取り組まれています。

そろいの衣装は、今年行われた第16回長崎街道宿場まつりで初めて披露され、今回開催された文化祭でも披露されました。

美しい日本語暗唱・朗読大会

11月3日に行われた第8回美しい日本語暗唱・朗読大会には、小・中学生60組が参加し、覚えてきた詩や文章など抑揚をつけて声高に朗読し、終わるたびに保護者や聴衆者から温かい拍手が送られていました。

結果は、次のとおりです。

(敬称略)

○暗唱の部

・低学年の部
優 秀 服巻 聡汰 (神埼小)
準優秀 副島 栄裕 (神埼小)
千代延青空 (仁比山小)

・中学年の部

優 秀 石丸 浩大 (神埼小)
準優秀 真崎 美弥 (西郷小)
執行 浩暉 (仁比山小)

・高学年の部

優 秀 石丸 千博 (佐大付中)
準優秀 佐藤 優 (神埼小)
本告 慧 (仁比山小)

○朗読の部

優 秀 光武 頼子 (千代田中)

○暗唱・朗読ペアの部

優 秀

宇都宮ゆり・成田アンナ (神埼中)
準優秀

森山和貴・木須杏花 (西郷小)
山村佳歩・堤 彩華 (神埼小)



櫛田宮子ども相撲大会

10月9日、神埼町の櫛田宮で第5回櫛田宮子ども相撲大会が開催されました。

大会には、幼児から小学生まで22人が参加し、熱戦を繰り広げました。なかには長時間におよぶ好勝負もあり、観客の目を楽しませていました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【個人戦】

○幼児の部

- 優勝 陣内 孝匡 (神埼幼)
- 準優勝 手塚 優斗 (宝生幼)
- 3位 辻 廉太郎 (神埼ク)

○小学1・2年生の部

- 優勝 坂井 裕八 (東部小)
- 準優勝 浦田エムレー (仁比山小)
- 3位 辻 徹平 (神埼ク)

○小学3年生の部

- 優勝 友永 健生 (神埼小)
- 準優勝 陣内 孝誠 (西郷小)
- 3位 宮崎琳太郎 (東部小)

○小学4・5年生の部

- 優勝 大田 哲也 (仁比山小)
- 準優勝 大田 朋幸 (仁比山小)
- 3位 永原 壮一郎 (東部小)

【団体戦】

○低学年(1年〜3年)の部

- 優勝 神埼・千代田合同
- 準優勝 本堀
- 3位 西郷

次郎の里少年相撲大会

10月24日、第5回神埼市次郎の里少年相撲大会(神埼市体育協会主催)が、千代田町の次郎体育館で行われました。



当日は、天候が悪く、体育館での開催となりましたが、幼児から小学生まで81人が参加し、子どもたちの奮闘に会場からは多くの声援が飛び交いました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【個人戦】

○幼児の部

- 優勝 辻 廉太郎 (神埼ク)
- 準優勝 手塚 優斗 (神埼ク)
- 3位 永原 未遥 (神埼ク)

○小学1年生の部

- 優勝 坂井 裕八 (東部小)
- 準優勝 園田 竜也 (東部小)
- 3位 中島 祥雲 (西部小)

○小学2年生の部

- 優勝 野中 創太 (西部小)
- 準優勝 吉田 勇樹 (中部小)
- 3位 野中 優作 (西部小)

○小学3年生の部

- 優勝 友永 健生 (神埼ク)
- 準優勝 實松慎太郎 (神埼ク)
- 3位 宮崎琳太郎 (東部小)

○小学4年生の部

- 優勝 西原 大貴 (中部小)
- 準優勝 植木 大晴 (西部小)
- 3位 森永 伊露 (西部小)

○小学5年生の部

- 優勝 家永 孝紀 (東部小)
- 準優勝 馬渡 耕汰 (西部小)
- 3位 塚原 海斗 (東部小)

○小学6年生の部

- 優勝 福岡 亮太 (神埼ク)
- 準優勝 樋口 敦士 (中部小)
- 3位 江頭啓一郎 (東部小)

【団体戦】

- 優勝 千代田東部小学校A
- 準優勝 千代田中部小学校
- 3位 神埼合同B

※神埼ク↓神埼相撲クラブ

県民体育大会で活躍

10月16日、17日の両日、鹿島市・嬉野市・太良町を中心に第63回県民体育大会(佐賀県・佐賀県教育委員会等主催)が行われました。

神埼市を代表して、17種目29競技に371人が参加。チームメイトの声援を受けて、選手ははつらつとしたプレーで会場を湧かせ、とても見応えのある試合となりました。なお、今年の総合順位(市の部)は昨年より一つ順位を上げ、7位でした。

また、各種目の競技結果は次のとおりです。

○優勝

- ソフトボール競技一般男子B
- バスケットボール競技一般男子

○準優勝

- バスケットボール競技一般男子
- 卓球競技一般男子A

○3位

- バレーボール競技一般女子
- バスケットボール競技一般女子
- ソフトボール競技一般男子A
- ソフトボール競技一般女子
- 剣道競技一般男子A
- 剣道競技一般男子B
- 空手道競技一般男子組手
- ゲートボール競技Cチーム

また、個人で入賞された方は次のとおりです。(敬称略)

○優勝

- 松永正則(水泳競技、50〜59歳25m自由形、50〜59歳25mバタフライ)
- 重松宏樹(陸上競技、18〜29歳200m)
- 大橋盛和(陸上競技、18〜29歳5000m)
- 増田稔久(陸上競技、砲丸投げ)

○準優勝

- 中原めぐみ(水泳競技、29歳以下25m平泳ぎ)
- 重松宏樹(陸上競技、18〜29歳100m)

○3位

- 中原麻美(水泳競技、29歳以下25m背泳ぎ)
- 田中孝弘(ゴルフ競技、59歳以下男子の部)



▲優勝したソフトボール競技一般男子Bの皆さん

劇的展開に熱狂 市民応援DAY

神崎市に本拠地を置くハンドボール実業団チーム「トヨタ紡織九州レッドトルネード」を盛り上げようと神崎市市民応援DAYが10月31日、神埼中央公園体育館で行われました。

トヨタ車体ブレーブキングスとの試合は、序盤から一進一退の攻防が続く白熱したゲーム展開となり、1点を追うレッドトルネードが同点ゴールを決めた瞬間に試合終了のホイッスル。32対32の引き分けとなりました。この奇跡的な同点劇に、会場は700人の市民、サポーターの歓喜の声に包まれました。



戦没者追悼式

11月10日、神崎市中央公民館で、神崎市戦没者追悼式が厳粛に行われました。

戦没者951柱（脊振町98柱、神埼町491柱、千代田町362柱）の御霊に対し、遺族ら約400人が出席して戦没者の冥福を祈るとともに、平和への気持ちを新たにしていま

した。祭壇には、11月6日から9日まで行われた第41回神埼町老人クラブ菊花展に出品された菊が献花され、会場は、菊の香りに包まれていました。



また、今年で3回目となるこのイベントでは、地デジテレビ、神崎市特産品など賞品が当たる抽選会や神埼そうめんコロッセやレッドトルネードにちなんだエビロール巻き「飛び跳ねロール」などの販売も行われました。

九年庵つれも切手贈呈

国の名勝九年庵をデザインしたオリジナルフレーム切手の贈呈式が11月10日、神崎市役所で行われました。

式では、郵便事業株式会社九州支社の大島照明営業本部長から80円を松本市長に、50円を田中副市長に贈呈されました。



この切手は、昨年に続き紅葉と新緑の九年庵をデザインしたもので、1シート10種類で構成され、80円、50円切手それぞれ1,000セット、計2,000セットが作成されました。

今年も、地域限定販売となり、県内南部の簡易郵便局を除く114局で来年1月31日まで販売されます。1セットの価格は、80円が1,200円、50円が900円となっています。

長年の読書活動をたたえ

地域などで読書の普及に長年にわたり尽力した個人や団体に贈られる「野間読書推進賞」を受賞した境ツヤ子さん（神埼町）が11月11日、神崎市役所を表彰訪問されました。

境さんは、佐賀県親と子の読書会協議会や佐賀県読書グループ連絡協議会で30年以上にわたり活動し、県内読書グループのまとめ役として発展に寄与されています。この功績が認められ、この度の受賞となりました。

境さんは受賞の喜びを「周りの方と協力して活動を続け

西郷保育園で砂場抗菌作業



11月6日、神埼建設業協会青年部により、西郷保育園の砂場メンテナンス作業が行われました。

この作業は、子どもたちが安心して遊ぶ事ができる、きれいな砂場を保育園に提供したいという青年部のボランティア活動で、抗菌砂を砂場に混ぜ込んで、安全、安心な砂場ができ上がりました。

園児たちは、早速きれいな砂場で大きな山やトンネルを作ったり、プレゼントされた砂場セットで遊んだりして、楽しんでいました。



てきただけです。本の世界には終わりがないので、今後も活動を続けていきたい」と話されていました。

県内での個人の部受賞は、14年ぶり4人目となります。

三世代で交通安全教室

交通ボランティアの知識・技術向上と、子どもや高齢者に対する交通安全啓発を目的に、神崎市みんなの交通安全教室 in 千代田（神埼地区交通ボランティア実践活動推進事業実行委員会主催）が11月6日、千代田町の次郎体育館で行われました。



千代田中部小学校をはじめ市内の小学生とその保護者、地域の高齢者など約90人が参加して、交通安全に関する〇×クイズや、暗い場所がよく見える色と反射材効果実験、時速5キロでのシートベルト衝撃体験、自転車の正しい乗り方指導などを通して、交通安全について理解を深めました。

仁比山小で国際交流授業

インターネットのテレビ電話を利用して海外の子どもたちと交流する授業が11月10日、仁比山小学校で行われました。



学校が海外のことについて学ぶ4年生の総合学習の一環で交流先を探していたところ、国際協力機構（JICA）の紹介を受け、仁比山小学校出身で青年海外協力隊の久富和範さんが今年3月に赴任したエチオピアのオロミア州メキの子どもたちとの交流が実現しました。

授業には、4年生47人が参加し、4人のエチオピアの子どもたちに、事前に用意をした質問や日本の生活習慣、はやっていくことなどをコンピュータにつけたカメラとマイクを通して伝え、久富さんが通訳に入る形で進行し、交流を深めていました。子どもたちは、食べ物や生活習慣の違いなどに驚きながら、熱心にメモをとっていました。

西郷小見守り隊が受賞

10月8日、東与賀文化ホールふれあい館で行われた「地域安全・暴力追放県民大会」で、西郷小学校見守り隊（新井豊代表）が功労ボランティア団体として、佐賀県防犯協会会長・佐賀県警察本部長の連名表彰を受けました。

西郷小学校見守り隊は、子どもたちの登下校時間帯に合わせて、ボランティアで見守り活動をされており、その功労が認められ、受賞となりました。



好評だったおゆずり会

子供服などの育児用品のおゆずり会（神崎市母子保健推進員主催）が、11月7日に千代田町保健センターで、また、11月11日には、神埼町保健センターで行われました。

市民の皆さまから提供された育児用品は、これから子育てで必要な方へもらわれていき、大好評のうちを終了しました。開催にあたり、協力をいただき、ありがとうございました。



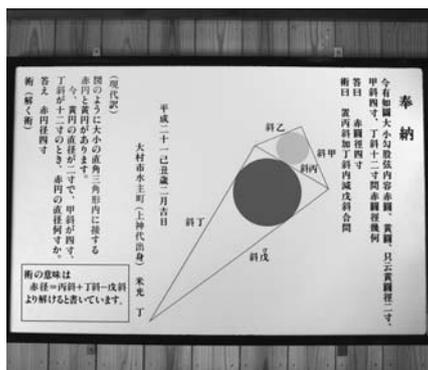
神社に珍しい算額

千代田町の冠者神社に、佐賀県内で初めて奉納された和算の算額が参拝客などの関心を集めています。

算額を奉納したのは、千代田町出身で、長崎県大村市在住の米光さんです。算額は縦90センチ、横120センチで、2つの円と三角形を描き、その関係から導き出した円の直径を問う内容です。

和算は江戸時代に発達した日本独自の数学です。なかには当時の西洋を上回る水準の研究内容もあり、各流派が研究成果を披露するため、額を神社に奉納したといわれています。

米光さんは高校の元数学教師で、現在は日本数学史学会



常任運営委員。和算についての研究や出版も数多く、昨年は「新・九州の算額」を執筆、本は神崎市中央図書館にも寄贈されています。

冠者神社は、下村湖人生家から歩いて3分ほどで、湖人生家にも算額を紹介したチラシが置かれています。